hitoyoshigram

ィンスタグラム Instagram で #oh_hitoyoshi を付けて投 稿された写真を紹介します。



#青井阿蘇神社 #御朱印

@saoring_z1019 さん



人吉市公式 Instagram @hitoyoshi_city をフォローし、#oh hitoyoshi を付けて お気に入りの人吉を投稿しよう!

すてきな人吉のひとコマを世界に広め ていきましょう。



人吉市公式 Instagram @hitoyoshi city

2つの漢字で意味のあ

る言葉になるよう進ん

でいきます。頭の中の

言葉をたくさん思い出

していきましょう。



3 - 1

入り口

台

屋

在



期的に伺って、

Vol.84



ロナの制限が緩和されたこと

と思います。

吹っ飛びます。 私は囲まれて質問攻めに遭い、 いスク 自身も元気になり たじとなりました(笑)。 た。子どもたちは本当に元気で、 人顔負けの鋭い質問もあってたじ 給食を一 小 い、令 ルランチ」を再開 中学校に出向き子どもた 和2年以来3年ぶりに、 緒に食べることで、 今後も各学校に定 べる 「ふれあ しまし

ろう 丈夫だろう」 険性が特に高い時期ですので、「大 ど3年が経ちます。 期に降っているようです 間に降る雨の量の約 7 月 か ? 過去の統計 4日で豪雨災害からちょう ではなく して 4割がこの時 入り全国各地 本地域 1 年

マスの中の漢字を「二字熟語」になるようしりとりしな

3 – 3

青

別

出口

答えは29分!

入り口

がら、入口から出口まですべてのマスを通りましょう。

※一度通ったマスを再度通ることはできません。

出口

路

という 災害発生の危

二字熟語迷路

入り口

No.26

問 市商工観光課(☎22-2111 内線2132)

ひとよしの



人吉市にはたくさんの事業所があり、生き生きと働く人たちが 町を活気づけています。このコーナーでは、市内で働く若者を紹

掲載希望事業所を募集しています。ぜひお問い合わせください。

フロント業務を担当しています。宿泊の受付や予約の管理、 お出迎えやお見送り業務をはじめ、観光案内、宴会や婚礼の サポート、お客さまの要望に応えるなど、幅広い業務です が、人と接することが好きなので楽しく働いています。当館 の女将が韓国出身ということで外国人のお客さまも多く、価 値観や習慣の違いから戸惑うこともありますが、お客さまを 尊重し、柔軟に対応できるよう心掛けています。

人吉・球磨の観光が盛り上がるように、観光・宿泊業に就 いている同世代の人と交流し、お互いを高め合えるような機 会があればと願っています。

人吉旅館



所在地:上青井町 160 番地 設立:昭和9年

代表者: 堀尾 謙次朗 社員数:24人

事業内容:宿泊、飲食サービス **2**22-3141



ッやもと みらい 宮本 未来さん (22) 球磨郡錦町

市地域防災官による災害への防災意識や命を守る方法のお話を紹介します。

市防災課防災係

(☎22-2111 内線3241)



避難所での運営協力

7月に入り、梅雨末期の大雨で避難する機会が 増えてくる時期になりました。そこで今回は、避 難所についてお話します。

避難所とは、災害で住宅を失うなど、被害を受 けた人や被害を受ける可能性のある人が一定の期 間避難生活をする場所であり、一時的に避難する 公園などの避難場所とは異なります。また、避難 所に入る人は、地域住民に限らず、たまたまその 地域を訪れていた旅行者なども対象です。

避難所の運営は、避難者を中心とした自治組織 で行われることが望ましく、その理由は次の2つ です。

- ①避難所での生活は、生活再建の第一歩となる場 所だから
- ②自治体職員は災害対応業務と通常業務に追わ れ、避難所に十分な数の職員を配置できなくな

避難所には住宅を失った多くの人が入るため、 集団生活を強いられることになります。集団生活 の秩序を保つためには、最小限度の避難生活の ルールと、救援物資の受け取りや保管、配給といっ た活動のほか、掃除やごみの処理などさまざまな 活動も必要です。このような活動を円滑に行うた めには、避難所全体をみんなで管理・運営するた めの組織が不可欠です。避難所生活を余儀なくさ

れた場合には、避難 所生活のルールをい ち早く検討し、避難 所の運営協力に努め ていただきたいと願 います。



▲川畑智さん。熊本県を拠点に、病院・施設で認知症予防や認知症ケアの実践に取り組むととも に、全国各地での講演活動にも力を注ぎ、介護予防の普及啓発活動や研究活動を行っている

3 - 2

27 HITOYOSHI 2023.07.01 広報ひとよし 7月号 26